

# 「硬式」「軟式」一丸



初の選抜出場決定から一夜明け、喜ぶ海星学院の選手たち

## 海星テニス部男子 高み目指す

第44回全国選抜高校テニス大会(3月20日開幕・福岡市)に選抜枠で選出された室蘭・海星学院男子。初出場決定から一夜明けた1月31日、選手の気持ちは高ぶっている。昨夏の高校総合体育大会(インターハイ)に続く全国の舞台。「硬式出身も軟式出身も一丸」を掲げ、高みを目指す。(野田篤志)

### 全国選抜選出喜ぶ

吉報を受けたのは練習の最中。菊地竜平総監督が部員に伝えると、選手たちは「信じられない」と驚きと喜びの声を上げた。選抜大会はインターハイ、国民体育大会と合わせた高校テニスの三大大会。選抜は個人戦3本、団体戦2本で競つため、出場選手が多いのが特徴だ。部員は札幌や函館などから入部した硬式経験者と、地元で軟式のソフトテニス出身が約半数ずつ。軟式勢は、出場選手枠が広くチャンスが多い選抜大会を一番の目標にしていただけに、喜びはひとしおだ。港北中出身の市橋治騎選手(2年)は仲間から選出を聞き「思わず叫んだ」。驚別中出身の斎藤碧月選手(2年)は「大会まで時間がない。一球一球大切にしたい」と意気込んだ。

練習で気合を入れる主将の松田空選手(2年)は「インターハイ予選の夏に向けた取り組みでいる最中だった。選抜出場は本当につれたい」と笑顔を見せ「軟式勢も一緒に切磋琢磨してきたい。一緒に全国で戦える」と一丸を強調した。

選考では硬式テニス普及へ取り組んでいるキッズ教室と、部員の人間力向上を目指す指導が評価された。菊地総監督は「結果を出して周囲の人に恩返ししたい」と話した。

組み合わせ抽選会は3月20日の開会式終了後に行われる予定。

むろみんスポーツ

掲載写真のご購入は 0143-22-5123へ